



あいさつに立つ神野実行委員長

大町マイヤ労組執行委員長

第83回愛知県中央メーデーを開催

連合愛知は4月21日、名古屋市久屋大通公園において、第83回愛知県中央メーデーを開催した。昨年度、東日本大震災の発生により中止となったため本集会は2年ぶりの開催となり、会場にはおよそ3000人が集まった。

冒頭あいさつに立った神野実行委員長は「メーデーは、1886年5月1日アメリカにおいて、1日の労働時間を8時間にすることを要求し、統一ストライキを行ったことが起源となっている。日本では、遅れて1920年に第1回メーデーが実施され今日に至っている。先人の方々の偉業に敬意を表するとともに、私たちは、団結することの大切さや労働組合を結成する意味、労働組合の役割について再認識したい。今、私たちの社会は格差が拡大している。このことは将来に日本に大きなつげを残すことにつながる。連合は、働くことにより社会を支える、働くことにより勤労の大切さと喜びを感じられる社会をつくるために今後も努力していく。」と述べた。その後、来賓として愛知労働局の新城局長、愛知県の大村知事、民主党愛知県連の中根代表があいさつを述べた。

式典の最後には、「東日本大震災から1年～被災地の現状～」と題し、サービス・流通連合の岩手県マイヤ労組から大町執行委員長を招き、特別報告をしていただいた。がれき処理が未だ進まない現状、

今なお仮設住宅で生活をしている現状など切実な話があった。

集会では、「働くことを軸とする安心社会」をすべての世代で築くことを提唱するため、壮年世代、若年世代、子育て世代、働く者全体のそれぞれの立場から発言をした。60歳を過ぎてからも企業で働き続けたり、若者を正規社員として雇ったり、ワーク・ライフ・バランスの推進をしたりといった、安心して生活していける対策の必要性を呼びかけた。それを受け、行政関係として愛知県産業労働部の小島労政担当局長から、議員関係として安藤県議会議員と山尾衆議院議員から、連合愛知として神野会長から課題解決にむけた見解が述べられた。

最後に、働くことに最も重要な価値を置く社会の創造を目指した「第83回愛知県中央メーデー集会アピール(案)」を三島副実行委員長が読み上げ、参加者の総意で採択した。



鎌田執行委員

津田青年委員

上野平女性委員

三村副実行委員長

第83回愛知県中央メーデー集会アピール

1886年、アメリカで「1日の労働を8時間に!」と団結し、立ち上がったことがメーデーの起源である。以来、働く者の権利獲得のために団結と連帯の力を示す日として継続・発展してきた。

そして、本日ここに私たちは、第83回愛知県中央メーデーを開催した。

昨年、3月11日に発生した東日本大震災によって多くの尊い命が奪われ、今なお被災地では、大変な苦労を強いられている。

私たちは、この未曾有の大震災を決して忘れることなく、これからも被災地支援に取り組み、被災地との「つながり、絆」を深め、復興・再生を軸に「雇用と生活の再建」に向けて全力を尽くしていかなければならない。

日本経済は、東日本大震災発生直後からは緩やかに持ち直しつつある。しかしながら先行きは、デフレの影響、円高・原油価格の上昇、電力供給の制約など景気下押しリスクが存在し、依然として不透明な状況にある。

この現況下、労働環境は、依然として新卒者の採用は厳しく、若年雇用の社会問題化をはじめ、非正規労働者の増加と一層の格差拡大など、多くの労働者が正規雇用を望みながらも非正規雇用で働かざるを得ない状況に置かれている。

また、年金の支給開始年齢引き上げに伴う高齢者雇用の問題、

医療・介護制度などを含めた社会保障の不安はますます増大している。

さらに、女性が働き続ける上で、仕事と育児の両立問題及び介護のために離職するなど、依然として大きな課題となっている。

連合愛知は、新卒者を含めた雇用機

会の創出・安定を図る政策の実現をはじめ、希望者全員が65才まで働ける環境整備の実現、最低賃金への取組みの強化、社会全体で子育てを支援していく仕組みづくり、全世代にゆきわたる社会保障制度の再構築に向けた取組みを強化し、だれもが安心して暮らしていける社会の環境整備を推し進めていく。そして、景気回復に向けた政策制度の実現に取り組んでいく。

社会の支え手である労働者の尊厳が再認識される、働くことに最も重要な価値を置く社会を創造し、私たちの求める社会像として、すべての働く者の連帯で、「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指す。

以上、第83回愛知県中央メーデー集会アピールとする。

2012年4月21日

第83回愛知県中央メーデー



集会アピール(案)を読み上げる三島副実行委員長

メーデーPRコーナー(勤労者福祉フェア)を盛大に実施

連合愛知はメーデー式典と同日、同会場においてメーデーPRコーナー(勤労者福祉フェア)を設け、連帯活動の紹介をした。連合愛知や安全衛生センター



マイヤ労組

のコーナーのほか、行政、名古屋NGOセンター、愛知県共同募金会などからの各種ブース21店が出店された。とりわけマイヤ労働組合による岩手県産物販売コーナーでは、多くの方が岩手県の特産物の冷麺や和菓子(南部せんべい・かもめのたまご)などを購入した。



安全衛生センター

地震体験なまず号

子どもの人気者「ここあ」

また、多くの家族連れは地震体験「なまず号」による地震体験を行った。さらに、安全衛生センターのコーナーでは、健康チェックはHIVコーナーが設けられ、多くの方で賑わった。

会場には、連合愛知キャラクターの「ここあ」も登場し、記念撮影をする家族連れが多く見られた。

多くの人とかかわりをもとう!

女性リーダー養成講座2012がスタート



佐藤教授による基調講演

連合愛知は、2012活動方針及び「ACTION PLAN AICHI-」に基づき、「労働運動を取り巻く重要な課題の克服に挑戦し、乗り越えることができる女性リーダー」の養成にむけ、第4期の本講座を実施することとしている。(本年度メンバーは23名)

4月25日、ワークライフプラザれあるにおいて実施した開校式には、養成講座メンバー、神野会長はじめ連合愛知三役、構成組織代表者、男女平等参画推進委員、女性委員など44名が出席した。



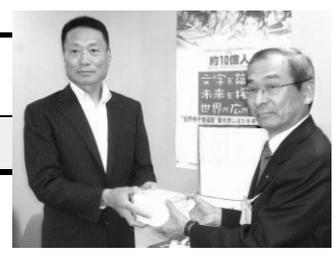
女性リーダー養成講座の参加者

男女平等参画推進委員会委員長である葛山副会長は、冒頭のあいさつで、「普段接することのない職種の人たちとたくさん話をして、明るく元気に楽しく最後まで頑張ってもらいたい」と語った。

また、神野会長は、「自分の経験からも、どれだけ多くの人たちと接し、どれだけ多くの人たちと話をしてきたかが大事なことだと思う。今回のこの講座はまたとないチャンス。自分たちの組織や職場に足りないこともわかる」と述べた。

最後に、東京大学大学院情報学環教授の佐藤博樹氏による基調講演が行われ、女性の活躍の現状と、今後さらに活躍の場を広げるために何が必要かといった話があった。

書き損じはがきを贈呈する土肥事務局長



世界中のすべての人に教育を！

書き損じはがき27,000枚を贈呈

連合愛知は、世界の読み書きができない方が学ぶための教育環境づくりを支援する目的で、1997年から「書き損じはがきキャンペーン」に取り組んでいる。この書き損じはがきを有効活用する“世界寺子屋運動”は、国連が1990年を「世界国際識字年」と制定したことをきっかけに(社)日本ユネスコ協会連盟が始めた運動で「すべての人々に教育を」をスローガンにしている。

連合愛知は、5月8日、構成組織および地域協議会によって集約された約27,000枚の書き損じはがきや切手・金券類(約126万円相当)などを「世界寺子屋運動名古屋実行委員会」に贈呈した。これまで連合愛知が贈呈した書き損じはがきは

累計で326,000枚(1,476万円相当)となっている。集約されたはがきなどは、換金した後カンボジア、ネパール、アフガニスタンなどで教育施設の建設・教員の養成などの教育環境整備のための支援金として役立てられている。

その後の意見交換では、名古屋実行委員会から2011年度は大震災の影響を受けたこともあり、全体では100,000枚を下回る結果となり、厳しい現状となっていることが報告された。また連合愛知からは、これからも継続して運動を進めていく一方で、はがき以外の運動についても検討をしていただきたいとの要望をした。

第7回(拡大)執行委員会 2012年4月24日

確認事項

- 1 当面の日程について
- 2 連合愛知各種委員会の委員交代について

構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

委員会名	構成組織名	新	旧
総務委員会	愛教組	山元 嘉与	日高 則行
"	自治労	植山 論	清水 貞雄
政治センター幹事会	"	植山 論	清水 貞雄
政策委員会	愛教組	西崎 慎也	長谷川靖樹
"	都市交	曾根 寛泰	鈴木 武夫
男女平等参画推進委員会	愛教組	浅野 由佳	鈴川 美紀
メーデー企画委員会	"	松原 大	加藤 篤
女性委員会	"	浅野 由佳	鈴川 美紀
青年委員会	"	後藤 俊明	伊藤 敦章
"	自治労	白井 健太	志村 和彦

- 3 退任役員への功労記念品の贈呈について
- 4 常任執行委員会の代理者の交代について

構成組織の事情により、以下のとおり代理者の交代を行う。

構成組織	新	旧
愛教組	吉田 環	森 佳世子
自治労	植山 論	清水 貞雄

- 5 連合愛知2012年度会計中間決算報告ならびに会計監査報告
- 6 愛知労協第44回通常総会の代議員要請について
- 7 構成組織の組織拡大について
- 8 「組織拡大強化月間(第17次)」の取組について
期 間:2012年5月1日(火)~6月30日(土)
- 9 6月の全国一斉労働相談ダイヤル実施に伴う対応について
期 間:2012年6月18日(月)~6月19日(火)
受付時間:10:00~18:00
- 10.地方アドバイザー業務委託の継続について
- 11.連合愛知2012安全衛生担当者研修会の開催に伴う参加要請について
- 12.2012年度執行委員非選出構成組織との意見交換会の開催について
期 間:2012年7月5日(木)14:00~17:15
場 所:ワークライフプラザれある 6階 大会議室
- 13.日中国交正常化40周年記念行事の延期に伴う対応について
- 14.連合愛知2012年国政研修会の開催について

- 日 時:2012年6月21日(木)
- 15.連合愛知と愛知労働局との定例懇談会について
- 16.2012年度「個別労働紛争解決研修(基礎研修)」の受講者について
- 17 第13回「地域政策推進フォーラム」の開催について
日 時:2012年5月28日(月)13:30~29日(火)11:30
場 所:全トヨタ労連研修センター「つどいの丘」
- 18.エネルギー関連施設の視察の実施について
日 時:2012年6月14日(木)9:00~17:00
- 19 連合愛知「男女平等参画推進会議」の開催について
日 時:2012年6月8日(金)13:30~16:30
場 所:ワークライフプラザれある 6階 大会議室
- 20 自然災害に伴う地域防災への参画について

議 事

- 1 非専従役員の交代について
構成組織の事情により、以下のとおり交代を行う。
副会長の交代

構成組織	新	旧
愛教組	浅野 由佳	鈴川 美紀



浅野副会長

構成組織	新	旧
愛教組	吉田 環	森 佳世子
自治労	岡田 優子	吉川 庸子

- 2 各種審議会・委員会などへの派遣について
- 3 連合愛知特別会計について
- 4 岡崎市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
推薦候補者:太田 俊昭(おおた としあき) [無所属:現3]
竹下 寅生(たけした とらお) [無所属:現3]
原田 範次(はらだ のりつぐ) [無所属:現3]
鈴木 英樹(すずき ひでき) [無所属:新人]
井村 伸幸(いむら のぶゆき) [無所属:新人]
井町 圭孝(いまち よしたか) [無所属:新人]
三宅 健司(みやけ けんじ) [無所属:現3]
加藤 学(かとう まなぶ) [民主党:現2]
柴田 敏光(しばた としみつ) [民主党:現1]
投・開票日:2012年10月21日(日)

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室
心の相談室

電話相談 **052(618)7831**
専用電話
月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。
面接相談 場所(社)日本産業力カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

ZENROSAI NEWS
一人ひとりの声をチカラに、確かな未来をつくっていく。
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。
保障のことなら全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

地 協 紹 介

尾張南地協

こんな活動やっています！

稲沢地区連ファミリーツアーを開催

3月25日(日)稲沢地区連によるファミリーツアーが組合員とその家族・政策推進議員とその家族、総勢117名・バス3台で伊勢神宮とおかげ横丁の食べ歩きを楽しみました。

昼食は、参加者全員一堂に会し代表のあいさつと政策

推進議員のあいさつを頂き、和やかに行われ大変楽しい一日でした。



海部地区連チャリティーボウリング大会を開催



4月13日(金)に、チャリティーを兼ねたボウリング大会を海部地区連組合員8名の参加

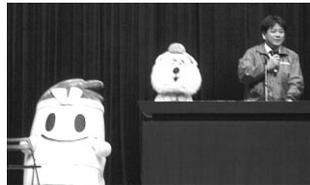
のもと津島市のサンガーデンボウルにて行いました。この大会も定例化しつつあり大変盛り上がる行事の一つです。

また、集まった募金は地域の福祉施設などに役立てていきたいと考えています。

津島市の藤まつりから離れて初の手づくりメーデーを開催、成功だったかな？

昨年からの統一メーデーを機会に、今年は津島市の藤まつりから場所を移し、稲沢地域と海部地域の中央に位置するあま市美和文化会館で4月28日(土)「第83回連合愛知尾張南地協メーデー」を開催することができました。

内容も手づくりで3部構成【第1部;映画の上映・イベント・親子工作、第2部;式典・抽選会、第3部;映画の上映・イベント・親子工作】とし、組合員と一般



の方を含み約550名余りの方に参加いただき、開催することができました。

イベントでは、大道芸人によるパフォーマンスショーやアートバルーン教室で大いに盛り上がりました。また、受付では東北の被災地でのボランティア活動のパネル展示や募金活動も行い、連合愛知の活動を来場者の方々に理解していただいたのではないのでしょうか。



稲沢市議会改革推進特別委員会との意見交換会

去る5月7日に稲沢市議会改革推進特別委員会と連合愛知尾張南地域協議会との意見交換会が行われました。これは、昨年4月に稲沢市議の斡旋収賄が発覚し、稲沢市民に多大な迷惑をかけるとともに、市議会への不信感を招いたことをきっかけに、議会として議員と議会のあるべき姿を見直し、議会基本条例を作成したいという意思から、特別委員会を設け商工会や医師会など各種11団体に意見を求めており、その中の一団体として連合愛知尾張南地協に依頼がありました。

当日は、市議会から魚住政策推進議員を始め各会派から構成される特別委員会のメンバー8名と尾張南地協からは代表を含む稲沢地区の三役(5名)が出席しました。

席上では、住みよい魅力あるまちづくりのため、稲沢市として側溝・道路の整備や交通アクセスなど場当たりの政策ではなく中長期的なビジョンをしっかりと論議して取り

組んでいただきたいこと。また、議員報酬・議員定数問題については、一企業に例えれば自ずと見えてくることなどの意見が出されました。

市議会の特別委員会からは、議員間の政策論議の場をつくっていくことは勿論、市議団による議会報告会の開催やインターネットを利用した議会公開など議会活動の見える化を目指すとともに、市民の意見を収集できる仕組みをつくり、これまで以上に市民の声に耳を傾けたいとの意向が示されました。

いずれにしてもこれは、稲沢市議会としては初の試みで、一つの出来事から反省し、首長と市議会の形式的な議会ではなく、議会として何をすべきかをしっかり見据え取り組んでいこうとする姿には、好感がもて期待をしていきたいと感じました。また、地協として今後もしっかりとした意見・要望をしていかなければと感じました。